

科目名	シャシ電子制御装置						
科目名(英)	Chassis electronic control unit						
単位数	8単位	時間数	120時間	担当者	田中 康司		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	1級自動車整備科 3年						
授業概要	シャシ電子制御装置の電子制御式オートマチック・トランスミッション、電動式パワー・ステアリング、アンチロック・ブレーキシステム、オートエアコン、振動、音の表し方振動・騒音の防止方法、振動騒音分析器などについて、これらの基本と応用知識を活用した実践的な診断整備技術手法についての知識習得をする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○				目標		
	○				電子制御式ATの高度整備技術及び高度故障診断技術について説明することができる。		
	○				EPSの高度整備技術及び高度故障診断技術について説明することができる。		
	○				ABSの高度整備技術及び高度故障診断技術について説明することができる。		
テキスト・教材 参考図書	・国土交通省自動車局監修 自動車整備士養成課程 教科書 一級自動車整備士 シャシ電子制御装置 ・シャシ電子制御装置ピアノート						
	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
授業計画	1	1～18回 I 電子制御式AT -第1章 高度診断技術-			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	19～24回 I 電子制御式AT -第2章 高度故障診断技術-			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	25～44回 II 電動式パワー・ステアリング-第1章 高度診断技術-			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	45～48回 II 電動式パワー・ステアリング-第2章 高度故障診断技術-			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	49～68回 III ABS -第1章 高度診断技術-			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	69～72回 III ABS -第2章 高度故障診断技術-			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	73～92回 IV オート・エア・コンディショナ -第1章 高度診断技術-			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	93～96回 IV オート・エア・コンディショナ -第2章 高度故障診断技術-			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	97～116回 V 振動・騒音 -第1章 高度診断技術-			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	117～120回 V 振動・騒音 -第2章 高度故障診断技術-			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)授業の中でステップテストを5回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価は、学生便覧に則り行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	期末試験		○				60%
	ステップテスト		○				40%
履修上の注意							

科目名	SPI						
科目名(英)	Synthetic Personality Inventory						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	荒巻 裕二		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	1級自動車整備科 3年						
授業概要	SPIには、「言語分野」と「非言語分野」があり、言語分野では、国語的な分野で言葉の意味を正しく把握し、文章の内容を理解し身に付け、非言語分野は、算数や数学的分野で計算能力や論理的思考力を身に付ける。						
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>						
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	目標		
	<input type="radio"/>				ことばの意味を正しく把握し、文章を理解し採用試験レベルの問題に解答できる		
		<input type="radio"/>			さまざまな計算の方法を理解し、採用試験レベルの問題に解答できる		
テキスト・教材 参考図書	基礎から学ぶSPIベーシック問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	対義語、2語の関係			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	漢字、文章理解			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	言語分野問題の復習			テキストの言語分野の範囲を復習し練習問題を解いておく		
	4	分数の計算、少数の計算			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	四則の混合算・パーセントの計算、十の位と一の位の数の計算			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	比の計算、割合の計算			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	順序関係、正誤の判断、時間の範囲			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	電車の発車時刻、料金計算、損益算			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	平均の計算、速さ・時間・距離、流水算			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	通過算、仕事算			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	年齢算、濃度算			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	連立方程式、集合			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	表の読み取り、順列・組合せ、確立			テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	非言語分野の復習			テキストの非言語分野の範囲を復習し練習問題を解いておく		
15	言語分野、非言語分野の復習			テキストの全ての範囲を復習し練習問題を解いておく			
評価方法	(1)授業の中でステップテスト(筆記)を3回実施する。(2)期末試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価は、学生便覧に則り行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	ステップテスト	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				40%
	期末試験	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				60%
履修上の注意							

科目名	スペシャルゼミ I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	90時間	担当者	石和 浩明		
実施年度	2019年度	実施時期	通期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	一級自動車整備科 3年						
授業概要	自己分析を行い自己の見つめなおし自分自身のPRポイントを見極める、ロールプレイングによって立ち振る舞いやコミュニケーション能力の向上、指導する力、説明する力を習得する。体験授業でのインストラクターを 実践し魅力のある話術、説明力を発揮できるようになる。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
						○ 自身の事を、人間性も含めて聞き取り手に正確に伝える事ができる。	
						○ 複数の聴き取りてに大して物怖じすることなく伝えたい事を正確に伝える事ができる。	
						○ 専門用語等を、その知識のない相手に分かりやすい言葉に変えて話す事ができる。	
テキスト・教材 参考図書	就職ガイドブック						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~12	立ち振る舞い、入室、退室、話す姿勢、挨拶等の基本的な動作訓練					
	13~21	自己表現について考える。自己PRの作成、趣味、特技などの情報を整理する事で様々な場面での話題作りを行う。					
	22~52	企業採用試験を模したロールプレイングを実施。					
	53~73	受講年齢に合わせた体験授業の作成、整備士の仕事のプレゼンテーションの作成から実際の体験授業の発案、作成を行う。					
	74~90	学内で他校生に向けた体験実習の実施、運営から授業まで全てを行いまとめとする。					
評価方法	全時間数の2/3以上の出席にてR評価(合格)とする。出席時間が不足している場合はD評価(不合格)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況					◎	100%
履修上の注意	就職活動まで見据えた内容となっています。真摯に取り組み自らの将来につなげて下さい。						